

## 議 案 質 疑

9月13日に議案第2号から議案第19号について質疑を行いました。  
(紙面の都合上、質疑の一部を掲載します。)

して就労につなげる指導、相談に対応できる経験等が必要になってくるため、民間のノウハウを活用して行っていきたいと考えております。

◇議案第12号

平成21年度八街市一般会計歳入歳出決算の認定について

北総中央用水事業の進捗率について伺う。

答

平成21年度末の工事の進捗状況は、揚水機場1カ所、送水路22キロメートル、幹線用水路42・1キロメートル、末端用水路9・1キロメートル、調整水槽15カ所の整備が完成したところであります。

予算ベースでは、総事業費504億円のうち76・7%にあたる約390億円の支出がされております。

問

道路新設改良費中、文違1号線の問題について、平成21年度決算では明許繰越となっているが、今後の取り組みについての考えを伺う。

答

現在、大関調整池周辺の冠水対策としては、大関調整池の上流に調整池を整備するため、用地の確保に向けて努力していきたいと考えております。

問

平成21年度の財政指数からみる市財政の分析は、どのようにされているのか。また今後どの程度の市債発行が可能なか伺う。

答

財政力指数については、本市は平成21年度は0・700であります。財政行動の弾力性を示す経常収支比率については、94・7%であり、95%以上になると注意を要すると考えております。

調整池を整備するため、用地の確保に向けて努力していきたいと考えております。

問

平成21年度の財政指数からみる市財政の分析は、どのようにされているのか。また今後どの程度の市債発行が可能なか伺う。

答

市債関係については、実質公債費比率は、平成21年度が11・7%であります。早期健全化判断の比率は25%ですが、起債が現在の協議制から許可制になる水準が18・0%ですので、この水準とならないよう市債の借り入れを検討してまいります。

問

市税収について、滞納整理の努力をしていますが、収納率が低下している原因は何なのか伺う。

答

基本的には昨今の経済状況の悪化が原因かと考えております。

問

報酬の引き下げ額について、選挙長は1千円、投票所の投票管理者は400円とばらつきがある。一律に平均して引き下げるべきと考えるが、このばらつきをどのように考えているのか伺う。

## 総 務

## 委員会での審査

9月14日から16日に各常任委員会が開催され、付託された議案を審査しました。  
(紙面の都合上、質疑、討論の一部を掲載します。)

◇議案第4号

八街市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

問

消防団に若い人が入ってこない状況が続いており、団員数も減少している中で、年齢制限の撤廃と同時に、加入を働きかけるためのPR等を行っていかなくてはならないと考えているが如何か。

答

地区役員や団員の方々に協力をお願いし、地域に密着した取り組みで推進を図っていききたいと考えております。

問

総務省の概算要求330億円減ということ、出口ベースで今年度とほぼ同じである概算要求をしております。

答

現段階では概算要求の総額しかわからないため、政府の平成23年度予算編成の中で情報を得て、普通交付税や臨時財政対策債の額を見込んでいきたいと考えております。

### 消防団への入団資格の緩和

八街市に居住する18歳以上  
50歳未満の方 (原則)  
↓  
八街市に居住または勤務する  
18歳以上の方

◇議案第5号

平成22年度八街市一般会計補正予算のうち、総務常任委員会付託分について

問

歳入のうち地方交付税について、4億

賦課徴収費のうち市民税課税事務費について、国税連携を導入するメリットは何か伺う。

問

所得税の確定申告のデータにつきましては、現在は職員が税務署へ出向き、確定申告書の添付資料等を持ち帰り課税事務を行っておりますが、国税連携後は、確定申告書の情報を電子データで受け取ることとなり、このデータをもとに課税事務を行うこととなります。これにより、これまでの事務が大幅に減少し、事務の効率化が図られることとなります。

答

円ほど増額となったが、来年度も平成22年度並みに交付されるのか、担当課の見通しについて伺う。

答

総務省の概算要求では、今年度より約330億円減ということ、出口ベースで今年度とほぼ同じである概算要求をしております。

問

現段階では概算要求の総額しかわからないため、政府の平成23年度予算編成の中で情報を得て、普通交付税や臨時財政対策債の額を見込んでいきたいと考えております。